

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	870102647		
法人名	有限会社 トウルーケアステージ		
事業所名	グループホーム メロン		
所在地	水戸市平戸町舟渡380-1 (電話) 0292-264-5111		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年3月25日	評価確定日	平成20年8月27日

## 【情報提供票より】(平成20年2月26日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年11月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤	20人, 非常勤 2人, 常勤換算 22.4人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3階建ての ~ 1・2・3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり 40,000 円			

### (4) 利用者の概要(平成20年2月26日現在)

利用者人数	27 名	男性	8 名	女性	19 名
要介護1	2	要介護2	9		
要介護3	6	要介護4	8		
要介護5	2	要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低	64 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	東前病院	大串歯科医院
---------	------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは各居室とも日当たりがよく、窓に布団を干したり、自室でテレビを見たり新聞を読んだり利用者はくつろいで居心地よく過ごしている。  
利用者は地域住民との交流や外食を楽しみにしており、健康面でも定期的な往診等があり、医療機関といつでも相談できる体制になっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 利用者と職員と一緒に食事をし、注意の必要な物品の保管場所等の改善に取り組んでいるが、玄関フロアの食材やリネンの荷物に関する課題について改善には至っていない。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 改善に努めているが、自己評価を職員全員で取り組むまでには至っていないので、残された課題に取り組むとともに、職員全員が自己評価及び外部評価の意義を理解し、改善することを期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議には地域住民や利用者の家族代表も参加しており、事業所の報告や話し合いを行い議事録を家族に送付している。 会議を重ねる度に事業所への理解が深まり、地域住民との交流も増え、非常時の協力体制が図られている。 市担当者とは密に連絡を取り相談を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の家族には日々の様子や健康状態・金銭管理の報告等を定期的に行うとともに、行事の案内や行事等のスナップ写真を送付している。 家族会や面会時等に意見や要望を聞くとともに、意見箱を設置し運営に反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、地域の行事や活動に参加して地域住民との交流に努めている。 園芸や話し相手にボランティアが来訪している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を、玄関やユニット内に掲示しているが、利用者や職員は親しみやすい理念として受け止めるまでに至っていない。	○	利用者や職員が理解し親しみやすい理念の作成を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践に向け、家庭的な雰囲気を大切に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の行事や活動に参加して地域住民との交流に努めている。 園芸や話し相手のボランティアが来訪している。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かし改善に努めているが、玄関フロアの改善点や自己評価を職員全員で取り組むまでには至っていない。	○	残された課題に取り組むとともに、職員全員が自己評価及び外部評価の意義を理解し、改善することを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には地域住民や利用者の家族代表も参加しており、事業所の報告や話し合いを行い議事録を家族に送付している。 会議を重ねる度に事業所への理解が深まり、地域住民との交流も増え、非常時の協力体制が図られている。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは密に連絡を取り相談を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の家族には日々の様子や健康状態・金銭管理の報告等を定期的にしたり、行事の案内や行事等のスナップ写真を送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や家族の面会時に意見や要望を聞くとともに、意見箱を設置し運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの職員に支援等を受けられるよう、職員の異動や離職を最小限に抑えている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が法人内外の研修を受ける機会を確保するとともに、受講後のレポート提出等向上心をもって働ける体制となっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者協会に加入し、定期的な勉強会等に参加するとともに情報交換をしている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所の見学や体験利用、ショートステイ等で利用者が徐々に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、不安や喜びなどを知ること努め、利用者の得意とすることを教えてもらったり、日々の生活の中で支え合えるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者や家族の希望・意向を把握し、利用者一人ひとりの思いを大切にケアに努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族、必要な関係者と話し合い、利用者がより良く暮らせるよう介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期・長期の期間を定め、期間前に遂行状況や効果を評価するとともに、現状に即した見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じ、通院の介助等柔軟な支援をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は、提携している病院で2週間に1回往診を受けているが、希望によりその他の医療機関での受診も支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、理解はしているが職員全員で方針を共有するまでには至っていない。	○	重度化や終末期に向けた方針を、利用者や家族、かかりつけ医等とよく話し合い、職員全員で共有するとともに、マニュアルの作成を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りやプライバシーを損ねないよう配慮した言葉かけや対応を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にしているが、希望にそった過ごし方の支援までには至っていない。	○	利用者の希望にそった過ごし方ができるよう、職員の配置に配慮や工夫を期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事をしたり、片付けを行っている。 味付けやメニューなど好みにも配慮しており、希望により外食をすることもある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	車椅子でも入れる機械浴の設備があり、一人ひとりの希望や体調に配慮して入浴できるよう支援している。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片付け・洗濯物たたみ・新聞取り等一人ひとりの生活歴や力を活かす場面づくりをしたり、ボランティアと一緒に囲碁やうどんづくり等を楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食や花見、ドライブ等季節や天候に合わせて戸外に出かける支援をしている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	フロア入り口はメロディチャイムを設置しているが、玄関に鍵はかけず自由な暮らしを支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練を実施し、非常食等を準備するとともに地域の人々に協力依頼をしている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成した献立をもとに、一人ひとりの状態や好みに応じた支援をしている。 食事や水分の摂取量を記録している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関フローア-に、食材やリネンの荷物等が置いている。 居間の室温はエアコンの温度設定で管理している。	○	玄関フローア-の安全や雰囲気へ配慮するとともに、居間に温度計や湿度計を設置し居心地良く過ごせるよう工夫することを提案する。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に使い慣れた家具や仏壇等を持ち込み、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。